



やなぎっ子

楽しさのピークはいつ？

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があります。昨日が彼岸入りですので、そろそろ涼しい気候になってくることでしょう。極端に暑い日が続いた夏が終わり、秋の到来にほっと一息といった感じです。

本校では、9月6日（金）の5年生社会科見学に始まり、遠足や社会科見学、修学旅行等、学校を離れ、校外で学んだり仲間との関係を深めたりする等を目的とした行事を2学期も進めています。

子ども達がとても楽しみにしているこれらの行事ですが、私の子どもの頃を思い出してみると、私に楽しさのピークが訪れるのは、いつも行事の前の日でした。学校で担任の先生から事前指導を受けている最中、私の想像力はフル回転。どんな楽しい体験ができるのか、バスの中でどんな楽しい時間が待っているのか、どんなお弁当を作ってもらえるのか…。当然、興奮のあまり、前の晩はよく眠れませんでした。

そして、いよいよ当日。私は、時間が進むにつれて、どんどん悲しいような寂しいような複雑な気持ちでいっぱいになるのです。それは、ずっと楽しみにしていた時間が終わりに向かっていくからです。一つ一つの見学や体験が終わるたびに、「また一つ終わってしまった…」という具合です。帰りのバスの中では、もう気分は下がりっぱなしでした。

これは、大人になった今でもあまり変わっていないようです。旅行の計画を立てている最中がいちばん楽しく、いざ旅行が始まると、終わりに向かっている悲しさや寂しさがどんどん募ってきます。

さて、子ども達に話を戻しましょう。子ども達は、自分の学年の行事に向けて、胸を躍らせている様子です。楽しさのピークが訪れるタイミングはその子それぞれだと思いますが、そのワクワクが行事の終了まで続くよう、各担任には、楽しいこといっぱい行事にしてほしいと考えています。好奇心を刺激するような体験、五感を刺激するような体験、これまで体験したことのないことに対する挑戦等、盛りだくさんにしてほしいです。

ここで、ご家族の皆様をお願いします。お子様のワクワクをぜひ支えてあげてください。そして、お子様が帰ってきましたら、たっぷりと思い出話を聞いてあげてください。これが、そのあとに続く学校生活などに対するワクワクへと続いていくと考えています。

それぞれの行事の実施に向け、各担任は、たっぷりと時間をかけて綿密に準備を進めています。実り多い行事となるよう頑張っています。ご協力をよろしくお願いたします。